



茅ヶ崎同盟教会学校だより

2018年度年間暗誦聖句 (CSさんびかライブラリー32番)

いつも喜んでいなさい。絶えずいのりなさい。
すべてのことにおいて感謝しなさい。
これが、キリスト・イエスにあって
神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケ人への手紙第一 5章 16-18節(新改訳 2017)

2018年度のクリスマス祝会は12月16日の礼拝後に行われました。教会員や教会学校に通う小さいお友だちから成人科の大人まで参加して楽しい祝会となりました。今回は、中高科担当の大木姉がレポートいたします。

2018年クリスマス祝会レポート

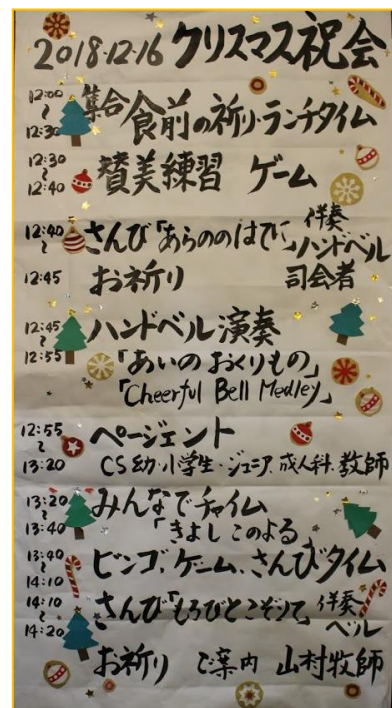
(大木怜子 記)



12月16日、アドベント第三聖日。今年一番の冷え込みの、正に冬らしい今日は、待ちに待った、クリスマス祝会だ。

まずは腹ごしらえ。教会で用意されたおにぎり弁当を、子どもたちと二階に集まり感謝していただく。するとある子がお弁当箱に描かれた絵を見て、「なんでサルとカニなの?」と尋ねてきた。「おにぎり弁当だからじゃないかな」、「サルとカニとおにぎり関係あるの?」そこで簡単にサル・カニ合戦の話をする。皆忘れてはいたけれど、一度は聞いた事があった、ああそんな話だったなあ・・・という。

日本の文化が引き継がれている事に嬉しさもあったけれど、改めて話すと、この話ってかなり残酷。





本質は仕返しと復讐だよね…。日本昔話の多くが同じテーマだし、忠臣蔵の話は今もって年末の人気話。

でも、自分で仕返しや復讐しても人は幸せにはなれない、うさばらしはできるけれど、新たな憎悪の連鎖を生むだけだ。悪人への仕返しや復讐は神様がしてくださること。子どもたちには、しっかりと神様の愛と赦しを伝えねば！と、おにぎりを食べながら思った。

食事を済ませ、ページェントの衣装に着がえる。衣装を着けるとテンションが上がって、ウキウキしているのが伝わってきた。

いよいよ祝会が始まった。ハンドベル伴奏で「あいのおくりもの」を子どもたちが手話付きで歌った。聴いていた皆が、嬉しそうな笑顔になったよ。ありがとう。

さてページェントだ。この日のためにずっと練習に励んできたけれど、ご親族のご不幸で田舎に帰省しなければならなくなってしまった博士さんと羊飼いさん。二人の美声が聴けなかったのは残念。そして体調を崩してしまった天使さん。練習頑張っていたのに…残念、お大事に。

まあ、そんなこんなは毎年の事、臨機応変ぶっつけ本番に強いのも私たち。美人でしっかり者のマリアさんに、イケメンで優しいヨセフさん。オーラ抜群のガブリエルに、かわいらしい天使。一人になっても頑張ってくれた。

ぶっつけ本番の羊飼いたちも皆を和ませ笑いを取るセンスは good。そして美しい三人の博士達はグッと大人っぽい空気と歌声でページェントをグレードアップしてくれた。優しくしっかり者の宿屋さん、良かったよ！威風堂々の王様と気の優しいようなナイスガイの家来。骨折回復リハビリ中のマイクさんもありがとう。ナレーターさんも良かった。教会きっての女優は自らの演技は封印して、監督演出に専念してくださり、ありがとう。来年はまた名演技が見たいなあ…。それから台本から何から何まで影の功労者ピアノさんお疲れ様でした。

皆（老若男女）でチャイム演奏をしたり、クイズをしたり…恒例のビンゴ大会で盛り上がり…あっという間に楽しい時間は過ぎ去り、無事に終了。いつの間にか雨が降っていたけど丁度終わった頃には止んでいた。なんだか得した気持ちで教会を出た。



●編集後記 (Dec.31st. 2018.Updated)



2018年度CSの大きなイベントであるクリスマス祝会を12月16日礼拝の午後に行いました。降誕劇は、せっかく練習を重ねたのに参加できなくなった生徒さんもいましたが、本番は上手にでき、楽しいクリスマス祝会となりました。23日には、賛美夕拝のあと6時よりキャロリング行われました。22名の参加があり、夜空のもと、クリスマス・キャロルの音が響きわたりました。24日には8時よりキャンドル・サービスが行われました。本年度も春の教師紹介号から始まり、イースター、夏期学校、など教会学校の活動を、ホームページを通じて紹介できました主の恵みに感謝します。(森本)

